

宇野中学校・玉中学校・日比中学校 再編準備委員会 第3回全体会 会議録（要点筆記）

■ 日 時 令和8年1月29日（木）19：00～19：25

■ 場 所 宇野中学校体育館内ミーティングルーム

■ 出席者 ○委員

加藤優子委員長 中塚俊道副委員長、
楠戸康弘委員 森順子委員 大崎千絵委員 高嶋秀明委員
中島正人委員 南濱喜成委員 福本敏子委員 物部明子委員
栗林太一郎委員 森裕司委員 安東和伸委員
角田智広委員 木津直美委員 遠藤雄也委員 堀宏美委員
星島永一委員 近藤真弓委員 内尾玲委員、福本泰久委員
小玉壽代委員
守屋侑貴委員 中務裕子委員 與田由佳理委員
干場萌委員 森谷真哉果委員 古村幸恵委員 町野弘美委員
三澤敏之委員 須藤由美江委員
新仁司委員 星島孝一郎委員 石原路子委員 入口大志委員
（欠席者：高藤弥々委員、日笠桃子委員、岡本園美委員）

○事務局

教育次長 萱哲司
学校再編推進課長 森真志 学校再編推進課参事 清山智保
学校再編推進課主査 小崎隆 学校再編推進課主査 久富香
学校再編推進課主査 藤田直也
（オブザーバー）学校教育課長 的場佳代

■ 傍聴者 一般 1人 市議會議員 1人 報道関係者 0人

1 開会

事務局： 要綱第6条第2項に基づき、委員の半数以上が出席しているので、会議として成立することを報告する。

2 教育長あいさつ

教育次長： 本日はお忙しい中、そして寒い中、準備委員会に集ってもらい感謝している。本日は、教育長が所用により出席出来ないため、代わりにあいさつをさせてもらう。日頃から教育行政に格別のご理解とご協力をいただいていることを心よりお礼申し上げる。昨年8月に準備委員会が立ち上がり、学校名、通学路、制服のこと等、様々な協議を進めてきた。昨年12月に玉野中央中学校校名が決定した。皆様方と協議してきたことが、一つずつ具体化してきている。校歌や校章、式典のことなどまだまだ決めていくことがある。一つ一つ具体化していきたいと考えている。皆様一人一人のご意見、一つ一つのご意見が、将来の子どもたちのために、新しい学校づくりのための大き

な力になる。引き続き、皆様方に忌憚のない意見をいただきたいと考えている。

3 議事（要綱第5条第3項に基づき、加藤委員長が議長となる。）

（1）各部会報告

委員長： 各部会からの進捗報告をいただき、各部会での協議結果を尊重しながら、全体会で承認していきたいと思う。
各部長から報告をお願いします。

総務部会長： 総務部会の報告をする。

総務部会は、11月から12月までに2回開催した。

内容は、校章の選定方法、校歌のフレーズ募集、閉校式について協議した。
主な協議結果は、まず、校章のデザイン案の募集方法については協議の結果、全国公募とし、募集期間は、令和8年1月5日（月）～2月27日（金）17時15分としている。また、「校章デザイン」の選定要領を協議し、「選定は、3段階で行い、第1次選定：総務部会員の投票により上位5作品程度を選定、第2次選定：第1次選定で選定されたデザイン案の中から、児童生徒等の投票により上位3作品程度を選定、第3次選定：第2次選定で選定されたデザイン案の中から、再編準備委員会委員全員の投票により上位1作品を選定」することとした。

次に、校歌については、作詞・作曲を、専門家に依頼することとなり、玉野市にゆかりのある専門家の中から、岡山大学学術研究院教育学域（音楽教育） 助教 岡本伸介先生に依頼することとした。

加えて、校歌に入れたい言葉・フレーズを再編に関係している小学校4年生から中学校3年生を対象に募集することとした。募集期間は、令和8年1月9日（金）～2月9日（月）17時15分としている。応募のあった言葉やフレーズを岡本先生に提供し、歌詞の中に取り入れてもらうこととした。

次に、式典は、閉校式の実施方法について、協議した。

フォーマルな形での閉校式は、5校合同で行い、学校ごとに個別にお別れの会などを実施する方法にした。

日程については、今後協議して決めていくようになる。以上、総務部会の報告とする。

委員長： 総務部会の協議内容について、何か意見・質問等はあるか。

（意見・質問等なし）

それでは、総務部会の協議結果について承認することとしてよいか。

（一同異議なし）

PTA部会長： P T A 部会の報告をする。

P T A 部会は、11月から12月までに2回開催した。

内容は、「学用品・制服・体操服などの選定方法」や「新P T Aの会則」に

ついて協議した。

主な協議結果は、「学用品・制服・体操服などの選定方法」では、制服のリボン・ネクタイ及び体育用帽子については、制服及び体操服に合った新たな製品を学校側で選定することとなった。トレーニングウェアの上下、ハーフパンツ、体操服（半袖・長袖）については、プロポーザル方式で選定することとし、2月3日に実施することとしている。選定委員は、現在のPTA部会委員以外の方で、各小中学校PTAから1名ずつ選任していただき、3中学校の教職員を含め20名で審査することとしている。

次に「新PTAの会則」では、各中学校のPTA会則を比較した資料を基に、全国PTA連絡協議会が公開している会則の例文などを参考として、会則の項目ごとに協議を進めていった。現時点では、「名称」、「目的」、「方針」、「役員」の項目について協議を終え、次回は「会員」、「集会」、「会計」などについて協議を進めることとしている。以上、PTA部会の報告とする。

委員長： PTA部会の内容について、何か意見・質問等はあるか。
(意見・質問等なし)
それでは、PTA部会の協議結果について承認することとしてよいか。
(一同異議なし)

通学安全部会長： それでは、通学安全部会の報告をする。
通学安全部会は、11月に1回開催した。
協議内容は、スクールバスの運行時間について協議した。
主な協議結果は、バスの運行ルート・運行時間を資料に記載のとおりとする予定とした。今後、運行事業者と協議し最終決定するため、数分程度前後する可能性がある。以上、通学安全部会の報告とする。

委員長： 通学安全部会の内容について、皆様、何か意見・質問等はあるか。
(意見・質問等なし)
それでは、通学安全部会の協議結果について承認することとしてよいか。
(一同異議なし)

学校運営部会長： それでは、学校運営部会の報告をする。
学校運営部会は、1月に1回開催した。
協議内容は、前回から引き続いて、学校運営方針、指導計画、統合前の交流活動などの学校運営に関する協議を行った。

主な協議結果は、学校教育目標が「幸せに生きる力を育み、共に未来をつくる生徒を育成する」に決まった。この言葉に込められた思いは、予測不能なこれからの時代を生きていく上で、子どもたちに幸せに生きてほしいというものである。昨今の学校教育目標として、「ウェルビーイング」ということがよく使われるが、ウェルビーイングの考え方、「精神的な豊かさや幸せに生きる、幸福に生きる」という視点を目指すべき姿とした。この幸せに生きる

ためには、知識・学力やコミュニケーション能力・社会性といった力が必要である。そうしたことを包括する言葉として、「幸せに生きる力を育み」とした。そして、「お互いに協力し、支え合いながら、持続可能な社会の形成者になる」といったことを、少し言葉が難しいので、ここの部分を「共に未来をつくる」という表現にした。そういう資質能力を持った生徒を育成していきたいという思いを込め、このような学校教育目標にした。

校訓については、「自立・協働・貢献」とした。これからの社会に求められる資質能力として、次期学習指導要領や岡山県の教育振興基本計画の中のポイントを整理したときに、自分で考え行動する力として「自立」、多様な他者と協力し、課題解決に向かう力として「協働」、「貢献」については、この宇野・玉・日比地区が子どもたち、私たちの新しい地域となり、この新しい地域のために貢献出来る生徒を育てる、やがては新しい地域から社会に貢献出来る生徒を育てるという思いから、「貢献」という言葉にした。この「自立・協働・貢献」は、今の時代だけではなく、これから先も恐らく、長きにわたって継いでいける言葉であると思い、この3つの言葉にした。

その他にも、保護者や生徒が再編後の学校生活に安心して過ごせるように、生徒の事前交流活動について、いつ・どのような活動を行うかについて協議を行っている。先ほど、総務部会長から報告があったが、閉校式については、5校合同で行うこととなった。閉校式の日程についても、協議を進めている。本日の総務部会で、閉校式の日程について部会員のご意見を伺いたいと考えている。以上、学校運営部会の報告とする。

委員長： 学校運営部会の内容について、何か意見・質問等はあるか。

(意見・質問等なし)

それでは、学校運営部会の協議結果について承認することとしてよいか。

(一同異議なし)

各部会とも、引き続きよろしく願います。

4 閉会